

プ 給食センターでカレーライス作りに挑戦
プロに学びました

7月27日に西伯小コミュニティ・スクール主催の夏休み事業「学校に泊ろう」で西伯小学校6年生児童が、西伯給食センターで調理体験を行いました。学校給食受託会社(株)メフォスの協力により給食が届くまでのしくみや衛生管理の大切さを学んだあと、普段入ることのない給食センターでカレーライス100食の調理に挑戦。大きな調理器具に悪戦苦闘しながら何とか完成。火加減も難しく、出来上がりは予定より1時間超過しましたが、ケガ等もなく無事終了しました。



大きなしゃもじ、混ぜるのムズカシイ〜!



盛り付けは私たち。特製しょうが焼き弁当出来上がり!

さ 夏休みボランティア体験
わやかな汗キラリ

夏休み期間中、小中学生が保育園や老人ホーム、作業所などの社会福祉施設でボランティア体験をしました。これは南部町社会福祉協議会が呼び掛けて毎年実施しているもので、所定の日数ボランティア体験に参加すると、南部町独自の「ヘルパー6級」「ヘルパー5級」の証書がもらえます。子どもたちの参加の動機は「人の役にたちたかった」「母親が介護士なので介護に興味をもった」など様々。今年もたくさんの児童・生徒が参加し、人と人との関わりや必要とされることの喜びを学びました。

お 米子高島屋に感謝状贈呈
手柄!ローズちゃん号

4月に営業を開始した米子高島屋の移動販売車「ローズちゃん号」の運転手が5月下旬、町内の県道の歩道で倒れている高齢者の女性を発見。同行していた社員2名が声かけをしながら脈拍を確認、救急車を呼ぶなど迅速に対応し、女性は一命をとりとめました。その功績を称え8月12日、町長から米子高島屋に感謝状が贈呈されました。感謝状を受け取った長谷川副店長は「今後も見守り活動の重要性を意識して取り組みたい」と話しました。



南部町と米子高島屋は「中山間集落見守り活動に関する協定書」を締結している

鳥大研究報告で地域のたからを再認識 ~鳥取大学地域貢献支援事業成果報告会in南部町~

8月2日、富有まんてんホールで「鳥取大学地域貢献支援事業成果報告会in南部町」を開催しました。

南部町と連携協定を結んでいる鳥取大学から2名の先生をお迎えし、地域学部の高橋健司准教授から「法勝寺一式飾りの文化的価値と次世代への継承」、農学部の高橋文雄教授から「切り干し竹の子の健康効果」と題し、平成24年度から現在まで取り組んでいる調査について報告がありました。会場では、切り干し竹の子を使用したお茶の試飲も行われ、来場者は興味深い研究結果に熱心に聞き入りました。



法勝寺一式飾りについて報告をする高橋准教授